

第1回目は

『地上デジタルテレビ放送』

町民の皆さんとこれからの岩美町の情報化をいっしょに考えていく判断材料としていただくため、今回のアンケートで皆さんからご質問が多く寄せられたものについて、今月号よりシリーズでご紹介していきます。

Q1 地デジって何？

地上波のUHF帯(470MHz~770MHz)を使う地上デジタルテレビ放送(以下、地デジと言います)で、現在の地上アナログテレビ放送(以下、アナログ放送と言います)と比べきれいな画面と音のハイビジョン放送が見られるほか、ひとつの画面で2~3番組を同時に見られることなどが特徴です。また、地デジを受信しているテレビに電話やインターネットを接続すれば、家庭からテレビのクイズ番組やリクエスト番組に参加することもできます。

Q2 地デジっていつからはじまるの？

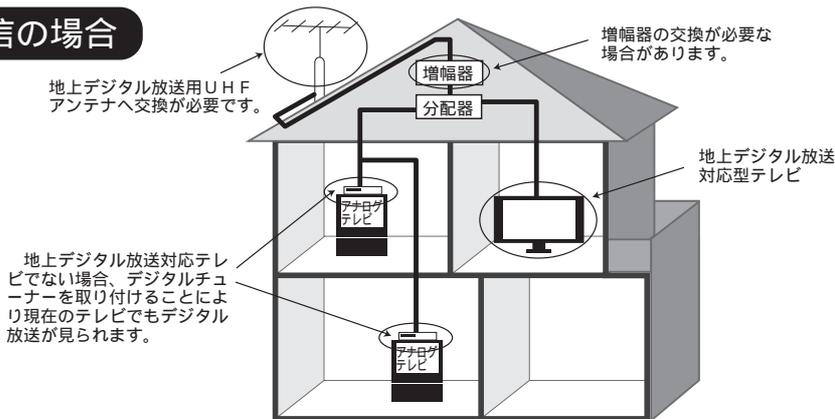
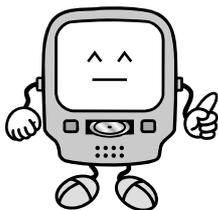
アナログ放送がなくなり、地デジだけになるのは2011年(平成23年)7月です。鳥取県内では今年10月1日より鳥取局(基幹局 毛無山)で地デジが開始され、鳥取市・米子市・境港市・八頭町・日吉津村・大山町・伯耆町・岩美町などの一部で見られるようになります。その後、2010年(平成22年)までに順次中継局が整備され、現在アナログ放送を受信できる地域は全て地デジを受信可能となります。岩美町域では、岩美中継局が2007年(平成19年)、岩美岩常局が2010年(平成22年)に地デジを開始する予定となっています。

地デジが開始されても、2011年7月まではアナログ放送も今までのように見ることができます。

Q3 どうしたら地デジを見ることが出来るの？

Q2の地デジが開始された地域では、ケース やケース の方法で地デジを見ることができます。

ケース 個人アンテナ受信の場合



ケース 共同アンテナ受信の場合

図のように、受信アンテナの追加(あるいは改修)... や、幹線増幅器の交換... が必要となってきます。改修箇所(方法)については、各施設の状態や立地条件によって異なりますが施設規模100棟(集合住宅10棟250世帯、戸建住宅90戸)で平均450万円程度必要と見込まれています。(総務省/地上デジタルテレビ放送受信ガイドブックより)

